

サッシの水密性能について

水密性能とは、雨を伴った風の時に、屋内への雨水の浸入をどの程度防げるかを示す性能です。

一般的に戸建て住宅の引違い窓の水密性能はJIS等級ではW - 2または、W - 3等級となっています。

W - 2、W - 3等級をJISの性能基準と気象状況にすると概略、下表のようになります。

等級	JIS基準		気象条件	
	噴霧量	圧力 (Pa:パスカル)	降雨量	風速
W - 2	1㎡あたり4ℓ/分	約 15kgf / ㎡ (150Pa)	240mm / 時	16m / 秒
W - 3	1㎡あたり4ℓ/分	約 25kgf / ㎡ (250Pa)	240mm / 時	20m / 秒

表の見方 :たとえばW - 2等級とは、サッシ面 1㎡あたりに毎分 4リットルの水をサッシ全面に均等に噴霧しながら約 15kg f / ㎡の圧力を加えることであり、気象状況にすると、1時間あたり240mmの降雨時に風速 16m / 秒程度の風が吹いてもサッシ部からの雨水浸入がないという性能です。

強風雨時にサッシ下枠に雨水がたまるありますが、これは一般的なサッシの構造上、水密性能を保持するために必要なことであり、不具合ではありません。不具合と言える雨水浸入は、サッシ下枠を越えて雨水が流れ出たり、あふれ出たりすることです。

